

第 6 学 年 ○○○○ 学 習 指 導 案

1 単元名 「○○まちづくり大作戦」～やってみよう、生き生きマイプラン～

2 指導観

このような子どもたちだから

- 子どもたちが住んでいる本地域は、「○○まちづくり協議会」を中心とした地域の人が、○ ○の「まち」をもっと住みよい「安全で、快適で、人情味豊かなまち」にするために、様々な取組を続けてきている地域である。これまでに子どもたちは、3年生では「○○のトリビアをさがそう」、4年生では「発見！○○に昔から伝わる事」、5年生では「知ってる？ ○○の農業」の学習を通して、○○の「ひと・もの・こと」に触れ、「まち」のよさに少しずつ気付いてきている。しかし、地域の様々な取組が、地域の人々の努力で組織的に計画的に進められてきたことに気付いている子どもはほとんどいない。また、地域にある様々な課題についても十分に意識しているとは言えない。
- 問題解決力の面では、地域の「ひと・もの・こと」との出会いから自分の課題をもつことはできるようになってきている。しかし、見通しをもった自分の追究計画を立てることにおいては、まだ十分とは言えない。また、交流活動の中で思いや考えを述べたり、自分の考えと友だちの考えを比べて聞いたりすることに対してやや不安をもっている。
- 人と関わる力の面では、地域の人と積極的に関わることを通し、地域の人々の思いや願いに気付いてきている。また、昨年度の6年生が「マイプラン」に取り組む姿も見えてきている。それを受け、子どもたちは自分も地域のためにできることをしたいと考えるようになってきている。そのため、どのような形でそのことが可能なのかの見通しをもたせれば、実際の活動の姿が実現できるのではないかと考えている。また、学習面では、追究や交流の活動を通して、協力したり互いの考えを高め合ったりする中で、友だちのよさに気付いてきている。しかし、自分の考えに自信をもつことができず、学習活動に積極的に関わるのが難しい子どもも見られる。

このような学習で

これまでの生活科・総合的な学習の時間に取り組んできた○○の「まち」についての学習の総仕上げとして、地域の人々の「○○のまちづくり」の取組を多面的に追究していく。その中で、地域の人々の思いや願いを知り、実現に向けて努力している姿に目を向けていくようにする。さらに、自分も地域の一員であるという自覚をもって「○○のまちづくり」に参画できるように「マイプラン」を考え、自分の立場で地域の「まちづくり」に協力していく活動を行う。

「○○のまちづくり」の取組を教材化することで、次のような学習が期待できる。

- 地域の人々が取り組んでいることを教材化することにより、地域について関心を持ち、進んで学習に取り組み、地域の「よさ」を知り、地域に誇りをもつことができる。
- 地域の人々が、○○を住みよい「まち」にするために様々なことに取り組んできたことから自分の課題をつかみ、しっかりした課題解決の見通しをもって追究活動に取り組むことにより、問題解決力を高めることができる。
- 自分たちが学習した「マイプラン」について、自分の学びの振り返りをしたり、他へ発信したりすることで、自分の学習の成果を実感し、自分に自信を持ったり、成長を感じたりすることができる。

このような指導を

(1) 問題解決力を育てるために

- 単元を通した見通しをもたせるために、「まちづくりの取組」についての追究と、それを受けた「マイプラン」についての追究の2段階の単元構成とする。
- 今までの総合的な学習を振り返り、「〇〇のまちづくり」という観点で課題をつかみやすくするために、「まちづくり」に関するG Tの話やフィールドワークを設定し、それをもとに「まちづくり」を組織的に整理したウェブ図を作成する。
- 追究計画を考えたり、追究活動を行ったりする課程において、お互いの考えを交流し、高め合う場を設定することで、自分の計画や活動を見直し、意欲的に実行することができるようにする。その際、まちづくりの取組や思い・願いを知ることや、まちづくりのためにできることを考えることについての見取りをし、「人」に目を向ける工夫をする。また、自分の考えとその変容が分かるような「〇〇〇〇ノート」の書き方も工夫していく。
- 「マイプラン」を決定する際には、実現可能なプランを作ることができるようにするために、友だちと意見交流をしたり、G Tからアドバイスを受けたりする場を設定する。
- 〇〇〇〇学習の学習過程を意識づけるために、〇〇〇〇学習の流れを示した掲示物や学習の足あとが分かる掲示物を活用し、その都度確認していくようにする。

(2) 人と関わる力を育てるために

- 自分の学習への取組の自己評価をしたり、お互いの頑張りを認め合ったりできるようにするために、定期的に振り返りカードを書くようにする。
- 友だちのよさや地域の人のがんばりに気付くことができるように、追究活動を通して、友だちと一緒に追究や交流をしたり、G Tにインタビューをしたり、一緒に活動させてもらったりする、友だちや地域の人と関わる活動を多様に設定する。
- 地域の一員としての自覚をもつことができるように「マイプラン」を考え、実行する学習を行う。また、地域の一員として活動してきた価値に気付くことができるように、互いに相互評価したり、地域・家庭から他者評価を受けたりする場を設定する。
- 国語の学習や〇〇タイムなどでの「聞くこと・話すこと」に関する既習を活用する。
- 追究や交流が効果的で効率的な活動になるように、折に触れて、国語の学習や〇〇タイムでの経験、「〇〇〇〇学習の手引き」を想起したり活用したりする場を設定する。

3 単元目標

- 〇〇の「まちづくり」に関心をもち、自ら進んで課題解決に取り組み、追究したことを自分の考えとしてまとめ、「マイプラン」を計画・実行することができる。 **【問題解決力】**
- 友だちや地域の人との関わりを深めることで自己への気づきを深め、自分の課題解決に積極的に生かすことができる。 **【人と関わる力】**
- 課題解決を通し地域のすばらしさに気づき、「マイプラン」に積極的に取り組むことで地域の一員であることを自覚し、〇〇の「まち」に誇りをもつことができる。

【地域への見方・考え方】

4 単元計画(50時間)

過程	学習活動と内容 (配時)	手 だ て	評価規準
はっけんする (12時間)	1 「まちづくり」について関心をもち、学習課題を作る。 (1) 今までに地域と関わってきた学習を振り返る。① (2) G Tの話から「まちづくり」の具体的な取組を知る ① (3) フィールドワークを行い、「まちづくり」の様子を実感をもってとらえる。③ (4) 「まちづくり」の様子をウェブ図にまとめる。② (5) 学習課題を作る。①	○ 話がよく分かるように、G Tの話のプリントを準備する。 ○ G Tの話と比べながら見学するように助言する。 ○ ウェブ図を分かりやすくするために、「まちづくり」の3つの柱からまとめていく。	○ 「まちづくり」の様子をはこまつノートにまとめることができる。 ○ 「まちづくり」の様子を多面的にとらえることができる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> まちを住みよくしてきた「〇〇まちづくりの取組」を追究し、自分の「〇〇まちづくりマイプラン」をつくって実行しよう。 </div> 2 「まちづくり」の取組について課題を設定し、計画を立てる。 (1) 追究したい内容を決め、追究課題を設定する。② <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 〇〇のまちづくりの取組について追究し、報告会をしよう。 </div> (2) グループで計画を立てる。② <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <予想される地域の取組> ・交通安全協会・花づくり協議会等 ・こぐまの部屋 <予想される追究方法> ・インタビュー ・アンケート ・体験活動 ・写真 等 </div>	○ 課題を考えやすくするためにウェブ図を提示する。 ○ 各自の計画書をもとにグループで交流し、友だちの考えのよいところは自分の考えに生かすように助言する。 ○ 追究する内容と方法をグループで明確にして取り組むように助言する。	○ 予想を立て、課題を考えることができる。 ○ グループで追究計画を立てることができる。
こたわる (5時間)	3 報告会に向け、課題を追究する。 (1) グループごとに追究活動をする。② (2) 中間交流会を行い、追究の見直しをする。① (3) 再度、追究活動をする。②	○ 地域の人と関わる中で、思いや願いに気付くように活動の見取りをし、助言する。 ○ 深まった追究活動のために、お互いの追究のよさを生かすように助言する。	○ 地域の人の思いや願いに気付くことができる ○ 他のグループのよさを取り入れ、見直しをすることができる
まとめる (6時間)	4 報告会に向け、自分たちの考えをまとめる。 (1) 追究したことを課題に基づいて整理し、表現物にまとめる。④ (2) グループ内でアイディアを出し合い、付加・修正する。②	○ 活動のあゆみや現在の取組、地域の人々の思いや願いが調査できているかを見取り、助言する。	○ グループで協力して、表現物を作ることができる。
つたえる (2)	5 「〇〇まちづくりの取組報告会」を行い、地域のために活動している人たちの思いや願いに共感したり、自分の「マイプラン」を考えたりする。② 【1組 本時】	○ 地域のために活動している人たちの共通の思いや願いに気付かせるために自分たちが追究したことを発表グループと比べさせる場を設定する。 ○ 次時への意欲付けとして、	○ 報告会を通して、地域の人たちの共通の思いや願いに気付く、意欲をもつことができる。

時間)		「マイプラン」が地域の思いに沿ったものであるかを考えさせる時間をとる。	
はっけんする(4時間)	<p>6 自分の「マイプラン」について課題を設定し、計画を立てる。 (1) 追究課題を設定する。①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「〇〇まちづくりマイプラン」を実行し、発信しよう。</div> <p>(2) 追究計画を立てる。① (3) GTからアドバイスをもらい、見直す。【2組 本時】① (4) 「マイプラン」を決定する。①</p>	<p>○ 実行するための具体的な観点を伝えておく。 ○ 「マイプラン」の完成をめざすために、自分の「マイプラン」が実行可能であるかをGTにたずねるよう助言する。</p>	<p>○ 自分のマイプランを実行可能なものにすることができる。</p>
こだわる(11時間) + 課外	<p>7 「〇〇まちづくりマイプラン」を実行する。 (1) 「マイプラン」を実行する。④ (2) 「マイプラン」の見直しをする。【3組 本時】① (3) 「マイプラン」を再実行する。⑥</p>	<p>○ 地域の人と一緒に活動させることで、有用感をもたせる。 ○ 活動の振り返りができるような、活動カードを準備する。 ○ 再実行をよりよい活動にするために、グループごとの交流会の場を設定する。</p>	<p>○ 意欲的にマイプランを実行することができる ○ お互いのがんばりを認め合うことができる。 ○ 自分の「マイプラン」を修正することができる。</p>
まとめる・つたえる(10時間)	<p>8 「マイプラン」の発信に向けて、活動内容をまとめる。⑤</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><発信したい人> 家族 ・ 5年生 ・ 地域の人 <発信方法> ワークショップ ・ ビデオ放送 掲示物 ・ 公民館だより 等</p> </div> <p>9 「〇〇まちづくりマイプラン」を発信する。③</p> <p>10 学習を振り返り、自分や自分たちの活動を評価し、地域への見方・考え方を深める。①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇のまちは、地域の人々の「まちづくり」活動のおかげでよいまちになってきている。 ・ 地域の人々ががんばっている〇〇の「まち」を誇りに思う。 ・ これからも、自分たちの「マイプラン」を実行し、「まちづくり」に協力していこう。 </div> <p>11 「マイプラン」を継続していくことを確認する。①</p>	<p>○ 今までの活動を通して、一番みんなに伝えたいことを発信するように助言する。 ○ 発信への意欲を高めさせるために発信したい人や発信方法についてグループで具体的に話し合わせる場を設定する。 ○ 発信方法については自分たちの考えが相手に伝わりやすい方法を考えるよう助言する。 ○ 〇〇の一員であるという自覚を深めさせるためにまちづくりの様子やマイプランを伝える内容になるよう助言する。 ○ 地域のよさに気づき、地域に誇りをもてるように学習の振り返りを行う。</p>	<p>○ 発信のポイントを見つけることができる。 ○ まちづくりの様子やマイプランについて分かりやすく知らせることができる ○ 学習を振り返り、地域のよさに気付くことができる。 ○ マイプラン継続の意欲をもつことができる。</p>

第 6 学 年 ○ 組 本 時 指 導 案

1 本 時 (24/50)

2 本時の目標

- 報告会の交流を通して、地域のために活動している人たちに共通する思いや願いに気付くことができる。

3 本時指導の考え方

本時までに子どもたちは、「まちづくり」に取り組んできたKさんの話を聞き、フィールドワークをすることで、○○の「まちづくり」に興味をもつことができた。課題をもつ段階では、「まちづくり」についてのウェブ図を作り上げ、「まちづくり」に取り組んでいる人の活動とその目的についておおまかに予想することができた。そして、追究したい取組ごとに8つのグループ（花づくり協議会、放置自転車対策、いこいの家、ふれあいロード、○○公園、Eサロン、ペコリン運動、交通安全協会）に別れ、それぞれに追究活動を繰り返し、取組のあゆみや活動の様子、目的について分かったことを表現物にまとめてきた。

本時は、これまでの追究活動のまとめとして各グループの報告会を行い、他のグループと交流することで、それぞれの取組は違っていても地域の人の「まちづくり」に対する思いや願いは共通していることと、それにかかる熱意に気付かせることで、次時から取り組む「マイプラン」に向けて意欲をもつことをねらいとしている。

まず、発表の場所をA、Bの2つの場に分け、グループごとに追究してきたことを発表する。次に発表を聞いて気付いたことを共通点を中心に話し合う。最後にそれぞれの場で話し合ったことを報告し合い、互いの話し合いの内容について共通理解を図るようにする。

そこで本時の交流活動にあたっては、次のような手だてをとりたい。

ア 話し合いを焦点化するために、グループごとに発表の中心を明確にしておくとともに、報告を聞く視点も明確にもっておくようにする。

- ・ 「まちづくり」に取り組んでいる人の姿や地域の変容の様子に目を向ける。
- ・ 自分たちが調べた人と他のグループが調べた人の共通するところを見つける。
- ・ 友だちの発表から気付いたことはないか考える。

イ 他グループの発表内容との共通点に気付くことができるように、グループの発表ごとにメモをしっかりと取って聞くよう助言する。

ウ 発表グループの報告を聞くだけでは考えをまとめにくいと思われる児童には、机間指導の中で、前時までの見取りをもとに助言や聞き取りによる支援を行う。

4 準 備

【教師】学習の流れ図、発表グループの順番表、地域の写真、遮断及び掲示用黒板、

○○○○ノート

【児童】発表用資料、総合ファイル

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 本時のめあてへの意欲をもたせるために、今までの活動のよさを賞賛する。</p>
<p>調べたことを話し合い、「まちづくり」に取り組んでいる人たちの共通点を見つけよう。</p>	
<p>(2) 報告会の進め方と、報告を聞く観点を確認する。</p> <p>2 報告会をし、考えを出し合う。</p> <p>(1) A・B 2つのグループに分かれ、報告会をしながら話し合う。</p> <p><ふれあいロード> 地域の人が快適に過ごすために取り組んでいる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ふれあいロードも他の取組と同じようにできるまでには長い時間をかけて、努力してきたんだな。強い気持ちを感じる。</p>	<p>○ 話し合いの見通しをもたせるために、進め方や観点を提示する。</p> <p>○ 自分たちのまとめに自信がもてるように、気づきの浅いグループから順に発表させ、話し合いが深まっていくように発表順を考慮し提示する。</p> <p>○ 共通点に気付くことができるように、メモを取りながら報告を聞くよう指示する。</p> <p>○ 話し合いが停滞した場合は、観点に立ち返り、同じような事象はないか、その原動力は何かを考えるよう助言する。</p>
<p>評価規準</p> <p>発表された事例から「まちづくり」に取り組む人々に共通する目的・熱意・地域への貢献に気づくことができる。</p>	
<p>(2) 見つけた共通点を確認し合い、報告会のまとめをする。</p> <p>4 A・B 2つの報告会の交流をする。</p> <p style="text-align: center;">期待する考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い年月をかけ、粘り強く取り組んですごいな。強い気持ちがあるからだ。 ・自分の住む〇〇のまちが大好きだがら住みよくしようとがんばっているんだ。 	<p>○ 地域の変容が分かる写真の提示し、「まちづくり」の取組はそれぞれ違うが、地域への思いや願いは同じであること、地域が変容してきたことを板書で確認する。</p>
<p>5 今日学習を振り返り、次の学習への意欲をもつ。</p> <p style="text-align: center;">期待する考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんたちのまちを思う気持ちはすごいな。ぼくのプランは〇〇さんの気持ちとつながっていると思うからがんばろう。 	<p>○ 次時への意欲を高めるために、次時はG Tに「マイプラン」が話せるように詳しい計画を立てることを伝える。</p> <p>○ 地域の人々の思いや願いと、「マイプラン」がつながっているかを考えるよう助言する。</p>

第 6 学 年 ○ 組 本 時 指 導 案

1 本 時 (2 8 / 5 0)

2 本時の目標

- 追究活動でお世話になったG Tに自分の「マイプラン」について説明し、アドバイスされたことをもとに実行可能な「マイプラン」になるように見直すことができる。

3 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、9つのグループ（ペコリン運動、こぐまの部屋、いこいの家、ふれあいサロン、Eサロン、ゴミ減量リサイクル会、ふれあいロード、放置自転車防止対策、交通安全協会）に分かれ、○○の「まちづくり」のあゆみやその取組、それに取り組んでいる人や参加している人たちの思いや願いを明らかにしてきている。また報告会を通して、自分の「マイプラン」を考え、活動の日時や内容、必要な道具などの計画を立てている。

本時は、その「マイプラン」が本当に実行可能なものかどうか、また「まちづくり」の3つの柱につながっているものかどうかを、直接G Tからアドバイスを受けながら見直し、自分のマイプランを確実なものとするのをねらいとしている。

まず、学習計画をふり返り、本時が「マイプラン」作成の段階であり、お世話になったG Tに自分が計画した「マイプラン」を説明し、アドバイスを受けてさらに実行可能な「マイプラン」を完成させる時間であることを確かめる。次に、各グループごとにG Tを交えて、各々の「マイプラン」について説明し、アドバイスをもらう話し合いを行う。もらったアドバイスをもとに、もう一度自分の「マイプラン」を見直し、必要に応じて付加・修正を行う。最後に、見直した「マイプラン」を全体場で発表し合い、実行への意欲につなげたい。

そこで本時の交流活動にあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 「実行可能か」、「まちづくりの3つの柱につながっているか」、「急ぐものはないか」、「長続きするものか」という観点で子どもたちにアドバイスをしてもらうために、事前に学習のねらいと内容について、G Tと打ち合わせしておく。
- イ 何についてアドバイスをしてもらうのかを明確にし、共通理解の上で本時の小グループの話し合いができるように、前時にアドバイスの観点を決める話し合いをしておく。
- ウ 内容についての説明とアドバイスの時間を十分に確保するために、小グループに分かれての話し合いを設定する。また、具体的なアドバイスをどのグループももらえるように、各グループにG Tに入ってもらおうようG Tを招聘するようにする。
- エ どの子どもも自信を持って「マイプラン」に臨むことができるように、前時まで「マイプラン」に自信をもつことができている子どもを見取っておき、G Tのアドバイスで見直された、「マイプラン」を全体に紹介し、価値付けする場を設定する。

4 準 備

- 【教師】グループ名札、話し合いの進め方、アドバイスの観点、各グループの掲示物、○○○○ノート、グループ名を書いた卓上名札
- 【児童】「マイプラン」カード、総合ファイル

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 本時学習のめあてをつかむ。 (1) これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 学習計画を振り返り、本時学習の位置を確認させる場を設定する。</p>
<p>地域の方々に「マイプラン」の案を聞いてもらい、自分の「マイプラン」を見直そう。</p>	
<p>(2) 話し合いの進め方と見直す観点を確認する。</p>	<p>○ 話し合いの仕方に見通しをもたせるために、＜進め方＞＜アドバイスを受けるポイント＞（観点）を書いたカードを提示する。</p>
<p>2 追究グループごとに話し合う。 ○ ひとりずつ「マイプラン」をGTに聞いてもらいアドバイスを受ける。 【アドバイス交流の1例】 <放置自転車防止対策グループ> 私は、〇〇が安全なまちになるように放置自転車の多い土曜日に箱崎駅に立って声かけをしたいが土曜日だけでいいか ↓ ↑ <放置自転車防止対策のGT> 日曜日も放置自転車が多いので、活動してくれるともっと安全なまちになると思うよ</p>	<p>○ 「実行可能か」「まちづくりの3つの柱につながっているか」「長続きするものか」「急ぐものはないか」という観点でアドバイスをしていただくよう、事前にGTと打ち合わせをしておく。</p>
<p>3 「マイプラン」を見直す。</p>	<p>○ GTとの話し合いをもとに見直しをする時間をとる。 ○ 「マイプラン」に自信がなかった子どもについては、実行への意欲をもたせるために、全体の場で紹介する。</p>
<p>4 今後の学習の見通しを持つ。 ○ 「マイプラン」の実行のための計画を立てる。</p>	
<p>5 GTに話を聞く。</p>	<p>○ 「マイプラン」実行への意欲付けとしてGTに話をしていただく。そのために、どういふ内容の話をしていただくか、事前に打ち合わせをしておく。</p>
<p>6 今日の学習を振り返り、次の活動への意欲をもつために振り返りカードを書く。</p>	<p>○ 子どもたちが達成感を味わったり次時への意欲をももったりできるような振り返りカードを準備する。</p>
<p style="text-align: center;">期待する考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車は、日曜日也多いらしいので日曜日の活動も入れよう。もっと安全なまちになるぞ（付加） ・いこいの家では、子どものお世話よりもお年寄りといっしょに囲碁をした方が喜んでもらえそうだな（修正） 	<p>評価規準 マイプランの説明が的確にでき、見直すことができる。</p>
	<p>○ GTとの交流を振り返って、GTのすばらしさや話し合えたことを振り返りカードに書くことで次時への意欲につなぐ。</p>

第 6 学 年 ○ 組 本 時 指 導 案

1 本 時 (3 4 / 5 0)

2 本時の目標

- グループでの交流会を通して、次からの「マイプラン」について見直しをすることができる。

3 本時指導の考え方

本時までに子どもたちは、G Tの話をもとに地域の「まちづくり」の取組を追究し、報告会を行っている。その過程で、地域の人が「安全・快適・人情味豊かなまちづくり」を目標に活動していることに改めて気付くことができている。また、その思いや願いを受け、自分の立場でまちづくりに参画していこうとする「マイプラン」を構想し、友だちとの話し合いやG Tからのアドバイスで実現可能な内容として計画することができた。さらに、計画をもとに実際に「マイプラン」を実施し、活動を行っていく中で「マイプラン」の改善点も見え始めてきている。

本時は、前時で話し合った見直しの観点（活動がよりよいものになっているか、安全・快適・人情味豊かなまちづくりにつながっているか）をもとに交流することで、それぞれの「マイプラン」をよりよいものへと見直し、次回からの活動を充実したものとすることをねらいとしている。また、この学習を通して、自分の「マイプラン」により自信を持った子どもたちが、さらに意欲的に活動に取り組むようになることも期待できる。

まず、「マイプラン」を実行してみた結果をもとに個人で見直す。次にそれぞれの見直しの結果を持ち寄り、グループで交流してさらに見直す。このような2段階の見直しを行うのは、自分の意見を明確にし、友だちの発表を聞く視点をもって、主体的に交流に参加できることをねらったことである。また、8つの追究グループを「安全グループ（HH公園、交通安全協会、放置自転車対策）」「快適グループ（花作り協議会、ゴミ減量リサイクル会、ふれあいロード）」「人情味豊かグループ（ハムエッグサロン、いこいの家）」の同じ柱ごとにおいて交流することで、意見交流を活発にさせたいと考えている。最後にお世話になったG Tからのビデオを視聴させ、次からの活動意欲を高めたいと考えている。

そこで本時の交流活動にあたっては、次のような手だてをとりたい。

- ア 子どもたちが目的、方法、内容を把握して交流会に参加できるように、単元の中での本時の位置づけや交流会の進め方、見直しの観点について十分に確認してから話し合いに入るようにする。
- イ 交流会では、友だちの「マイプラン」に対してアイディアを伝えやすくするために、アイディアカードを準備しておく。
- ウ 共通した話題でグループ交流が活性化するように、同じ柱「安全・快適・人情味豊か」でグループ編成する。
- エ マイプラン見取りの補助簿をもとに、話し合いがうまくいかないグループの原因を把握し、助言を行う。

4 準 備

- 【教師】交流会の進め方、見直しの観点、グループ名を書いた卓上名札、各グループの掲示物、○○○○ノート、G Tからのビデオレター
- 【児童】マイプランカード、アイディアカード、総合ファイル、司会者カード（司会者用）

5 展 開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1 今までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 本時への意欲をもたせるために、今までのマイプラン活動のよさを賞讃する。</p>
<p>マイプランを自分やグループで見直し、次からの活動をよりよいものにしよう。</p>	
<p>2 見直しの交流活動を行う。</p> <p><交流会の流れ></p> <p>～放置自転車対策～</p> <p>「みんなが住みやすいまちになるために、土曜日の朝に〇〇駅で放置自転車対策活動に参加しました。」</p> <p>↓ 見直し ↓</p> <p>「〇〇小の子どもとわかるようなふだをつけていきたい。」</p> <p>↓ 交流 意見 ↓</p> <p>「地域の方と取り組んでいるのは良いと思います。しかし、〇〇崎駅だけでなく、取組を広げる（ポスターなど）と、もっと安全なまちに近づくとと思います。」</p> <p>↓ 見直し ↓</p> <p>「地域の方や保護者にも知ってもらうために、チラシを作ろう。安全なまちを目指してがんばるぞ」</p>	<p>○ 交流会を活発にするために、前時で話し合った見直しの観点を示し、交流会の進め方を確認する。</p> <p><見直しの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動がよりよいものになっているか。 ・〇〇のまちづくり「安全・快適・人情味豊か」につながっているか。 <p>○ 交流会が円滑に進むように、司会者には事前に交流会の進め方カードを提示しておく。</p> <p>○ 意見交流が活発になるように、アイデアカードでアイデアを伝え合う。</p> <p>○ 机間指導をし、見直しが「〇〇のまちづくり」に沿う内容の話し合いになるよう助言する。</p> <p>○ 話し合いが進まないグループには補助簿を参考に助言する。</p> <p>○ よりよい「マイプラン」にするため、友だちからアイデアを受けて、修正・付加する。</p>
<p>3 G Tからのビデオレターを視聴する。</p> <p>4 次の活動への意欲をもつために、振り返りカードを書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">期待する考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全なまちづくりの取組をみんなに知ってもらうために、これからはチラシやポスターにもチャレンジしたい。 ・ 友だちからアイデアをもらったので、次からのマイプラン活動に活かしていこう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>評価規準</p> <p>友達のアイデアをもとにマイプランを見直すことができる。</p> </div> <p>○ 地域の一員であるという自覚がもてるようなG Tからのビデオレターにする。</p> <p>○ 振り返りカードの内容は、交流したことで広がったり深まったりした自分の考えを書くことで、次時への意欲につなぐようにする。</p>